



## 【自主 敬愛 勇健】～生徒も教師も生き生きと活動する学校～

### <令和7年度 全国学力・学習状況調査（3年生対象）の結果から>

今年度の4月に実施した全国学力・学習状況調査（国・数・理／生徒質問紙調査）の結果から、下記のように、本校の成果や課題を分析し、今後の対策を考えましたのでお知らせいたします。

#### 【成 果】

国語では「思考・判断・表現」の全領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）において成果があります。特に「読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうか」を問う設問において、正答率は全国平均を10ポイント以上、上回っています。数学では「数量を文字で表す」設問や「多角形の外角を求める」設問、理科では「エネルギー」の領域の設問において、正答率は全国平均を6~7ポイント以上、上回っています。また、昨年度と同様に、無回答率が低い傾向にあり、多くの記述式の設問で正答率が全国平均を上回っています。分からぬ問題でも粘り強く取り組み、自分なりの考えを大切にして解答を導くことを継続的に行ってきましたが、これが成果として表れていると考えています。

#### 【課 題】

領域別でみると、国語では「語彙の理解」に関する設問や「書く内容の中心が明確になるように内容のまとめを意識して文章の構成や展開を考える」設問において、正答率が全国平均を8ポイント程度、下回るという課題が見られました。数学では「素数の理解」に関する設問や「条件を変えた場合の証明の評価・改善」に関する設問、理科では「呼吸をする水中生物」に関する設問や「元素記号の理解」に関する設問で、正答率がそれぞれ10ポイント程度、全国平均を下回るという課題が見られました。



#### 【対 策】

国語では、引き続き「書くこと」を土台としながら、「語彙の理解」等の知識・技能の習得も図る授業づくりを行っていきます。数学では、家庭学習を充実させ、基礎的な内容の確実な定着を図っていきます。また、授業では、条件を変えて考えたり他の見方ができないか考えたりする活動を増やしています。理科では、実験や観察を通して、基本的な知識や概念を習得したり、習得した知識や概念を活用して考えたりする場面を増やしています。また、教科学習全体として、「友と関わり合いながら考える活動」や「根拠を明確にして考える活動」、「いくつかの事柄を関連させて考える活動」を多く取り入れるようにし、知識・技能の確実な定着や「思考力・判断力・表現力」のさらなる向上を目指していきます。

### <「生徒質問紙調査」から見られる本校の成果>

◆ 1、2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

【ほぼ毎日：本校-69.1% 全県-49.2% 全国-53.2%】

一人一台端末が導入されてから今年で6年目となりました。これまでICT機器の使用頻度は全国平均に及びませんでしたが、今年度は初めて全国平均を上回る結果となりました。ICT機器を効果的に用いることのできる場面や方法について、職員研修を重ね、授業で積極的に実践してきた結果であると考えます。生徒は、日常の授業の中で、考えを共有したり、調査や発表したりする際に、学習用具の一つとして使用しています。今後もICT機器のよさを生かしながら、生徒同士が学び合い、力を高めていけるような使用方法や使用場面を考えていきます。



## <「生徒質問紙調査」から見られる本校の生徒の特長（好ましい生徒の様子）>

◆学校に行くのは楽しいと思いますか。

【当てはまる+どちらかといえば当てはまる：本校－90.1% 長野県－84.4% 全国－86.1%】

◆普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

【よくある：本校－54.3% 長野県－46.0% 全国－46.4%】

◆授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。 【当てはまる：本校－59.3% 長野県－46.0% 全国－45.5%】

本校には、友達を大切にし、進んで人助けができる生徒が多くいます。また、「自分にはよいところがあると思いますか」の問い合わせに対して、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒が8割を超えることから、自己肯定意識が高く、自分を大切にしている生徒が多いことが分かります。学校生活における友達や教師との信頼関係や安心感が、生徒の将来に向けて前進する意欲につながっていると考えられます。

## <「家庭学習」に関するアンケート調査の結果から>

昨年度から「家庭学習の手引き」を作成し、5教科（国社数理英）の家庭学習のポイントを、4月のオリエンテーションで紹介してきました。今年度も「家庭学習にどのように取り組んでいるか」について、全校生徒にアンケート調査を行いました。結果は以下の通りです。

今後も調査結果を踏まえ、生徒の学習習慣の確立と基礎的な力の定着のための家庭学習のあり方を探っていきたいと思います。※（ ）内の数値は全国平均の数値を表しています。

①学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。

（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

（数値は%）	今年度（R7）				昨年度（R6）
	全校	1学年	2学年	3学年	
3時間～	6.8(9.9)	2.8	1.4	15.8	10.9(9.2)
2時間～3時間	20.4(20.9)	9.7	15.3	35.5	21.4(22.5)
1時間～2時間	39.8(30.8)	45.8	40.3	32.9	35.8(32.6)
30分～1時間	20.8(19.1)	30.6	22.2	10.5	20.5(18.4)
30分以下	8.1(11.3)	9.7	13.9	1.3	8.4(10.4)
まったくしない	4.1(7.7)	1.4	6.9	3.9	3.2(6.6)

②土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。

（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

（数値は%）	今年度（R7）				昨年度（R6）
	全校	1学年	2学年	3学年	
3時間～	21.9(13.8)	8.1	9.7	46.8	30.0(15.5)
2時間～3時間	24.6(18.7)	25.7	20.8	27.8	22.3(20.7)
1時間～2時間	28.1(25.4)	36.5	33.3	14.3	25.0(26.8)
1時間以下	29.7(24.1)	25.7	26.4	7.8	17.7(23.1)
まったくしない	5.8(15.4)	4.1	9.7	3.9	5.0(13.1)

③「家庭学習の手引き」を、家庭学習でどのくらい活用したり、参考にしたりしましたか。

（数値は%）	今年度（R7）	昨年度（R6）
かなり活用・参考にしている	6.8	4.6
たまに活用・参考にしている	27.3	26.0
あまり活用・参考にしていない	33.6	34.7
まったく活用・参考にしていない	32.3	34.7

今後とも、子どもたち一人一人が夢の実現に向けて学び続けられるよう、本校へのご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

